

## 「沼のほとり」

発行責任者 遠藤織太郎(TEL:04-7182-0387) 編集責任者 國方幸生(TEL:04-7184-3385)

事務所:我孫子市白山二丁目 13 番 5 号

e-mail:info@teganuma-trust.jp

ホームページ:http://teganuma-trust.jp/ ブログ:http://blog.goo.ne.jp/teganuma-trust/



(根戸新田 雪の冬水田んぼ)

### 新春を迎えて

理事長 遠藤 織太郎

新しい年を迎え、皆様にはそれぞれの希望と抱負に胸を膨らませていることと思います。

旧年は未曾有の東日本大震災、それに伴う超大津波にみまわれ、自然の厳苛災厄的部分を思い知らされました。それに福島原発事故による放射能汚染は、自然や環境、食や農に対し深刻な影響をもたらしました。加えて、大型台風の直撃もありました。現代文明は自然を克服する上に構築されてきましたが、その脆弱さが露呈し、文明のあり様を反省させられる契機になったのではないのでしょうか。日本人が忘れかけていた人と人との絆や思いやり、自然との共生の大切さが再認識された年であったと思います。

新年はこの大震災からの復興、再生に向けて、また放射能対策の確立などに、日本人の力と英知の結集が求められているのだと思います。

NPO 法人手賀沼トラストは、そのような年の中で誕生し、2年目を迎えました。これまでの13年間は市民活動の任意団体として「自然と共生する地域づくり」をモットーに、手賀沼周辺の残された景観や自然環境、史跡などの保全、保存活動を中心に皆様とともに熱っぽく実践して参りました。この間、活動の核となるキーワードは「持続性の創出」とでも申しましょうか、持続性のある手賀沼の再生、景観や自然環境の保全、史跡の保存、そして食と農の安全・安心づくりということであったと思います。大震災からの復興、再生を前にして、この「持続性の創出」をキーワードとして、将来展望が構築されることを祈ること切であります。

新しい年における手賀沼トラストは、体制面の強化のために設けた5部門、環境保全事業グループ、農事・農教室事業グループ、農地保全グループ、交流事業グループ、事務局がこれまで以上に連携、協働して、手賀沼周辺の優れて持続性のある景観や自然環境を守り、人と自然が共生する豊かで潤いのあるまちづくりに寄与していきたいと願っています。また、運営面では、この一年を通じて、会員相互の絆づくりと親睦を大切に、楽しくそれぞれの方に有意義で充実した時間がもてるように邁進したいと願っています。

何卒、皆様の変らぬご理解とご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

本年が手賀沼トラストと会員の皆様にとって素晴らしい年になりますよう祈念し、ご挨拶いたします。

## 年 頭 所 感

### 環境保全グループ

リーダー 寺田 太郎

明けましておめでとうございます。昨年の災害、そして原発による放射能汚染。特に放射性物質の飛散は甚大な被害をもたらしています。どのようにこの汚された自然と係っていったら良いのか疑問であります。今年も例年通りの作業を一応予定致します。皆さんの賢明なご判断をもって作業にご参加下さる様お願い申し上げます。諸作業、諸行事に参加をして自己免疫力を高め、放射能に負けない身体を作っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 農事・農教室グループ

リーダー 浅妻 正

昨年は受講生の皆様の精力的な活動により事故もなく無事一年を乗り切ることができました。今年は更に、一層充実した活動を行うために計画を策定中です。農事・農教室グループでは「自然と共生する、持続可能な有機栽培を楽しく学ぼう」をスローガンに活動を行ってまいります。皆様に活動を通じて有機栽培の知識や技術を習得していただき、家庭菜園等を行う時に役立てていただければと思います。また、二年次生以上の受講生の方で、希望される方に参加していただき、受講生相互が情報交換をしたり、テーマをもって学んでいただく特別コースの設置を検討しております。

根戸城址に残された里山の自然の下で作物を育て、収穫し、食べることの体験を通して、自然と共生することの喜びを感じながらこの一年間共に生活していきましょう。

### 交流事業グループ

リーダー 坂巻 宗男

交流事業グループの活動は、文字通り会員同士の交流を深めること、そして一般の人たちにトラスト活動を広く知って頂くことです。この方針を踏まえて、昨年の活動を振り返ると、そば祭りや餅つき大会のように例年通り盛り上がったものもありますが、トラストサロンのようにあまり開催できず、目的を果せなかった点多々あります。

今年にはトラストサロンを中心に会内外へトラストの活動をPRしていく年にしていきたいと思っております。さしあたりは、遠藤理事長を講師とする「有機(生態系)農業の基礎講座」を一般の方にも呼び掛け、2回シリーズで開催します。春には落語会や杉村楚人冠邸の散策などを、また夏には案山子祭り。きっと大勢の案山子が所狭しと並ぶことでしょう。それから納涼会、一度手賀沼の屋形船で湖上の宴を催すことも実行したいと思っております。秋には収穫物を使った、そば祭り、餅つき大会を行います。みんなで和気藹々と手賀沼の環境を守り育てながら、楽しい時間を過ごしましょう。交流事業グループでは、皆さんからのいろいろな企画をお待ちしています。

### 農地保全グループ

リーダー 杉野 光明

「あの年以前、あの年以後」のその年にNPO法人手賀沼トラストが歩みだしました。社会的使命も活動場所の環境も変わりました。これからどう育てたらいいのか、農地保全グループの活動も模索中です。会員の皆様の温かいまなざしとお力添えが頼りです。

### 事務局

リーダー 國方 幸生

昨年7月、NPO法人の認証を得てから半年が経ちました。昨年は未曾有の大震災や大型台風にみまわれる多難な1年でした。そのような中で、手賀沼トラストは懸案であった法人化を、2年半におよぶ検討の結果、会員の皆様の賛同を得て実現することができました。6月にはNPO法の画期的な改正案が成立し、本年4月から施行されます。私たちを巡る環境も大きく進展しようとしています。私たちが掲げた「手賀沼周辺の優れた景観や自然環境を守り、人と自然が共生する豊かな潤いのあるまちづくりの推進」というミッションを達成するため、四つの事業部門が設置されました。それぞれの部門が責任を持って事業目的を達成することは勿論ですが、相互に協力・連携しながら活動を展開することが肝要だと思います。これからの事業活動が円滑に、継続的に、かつ合目的に推進され、活動にご参加頂く会員の皆様が充実感、達成感が味わえるように、事務局として各部門の活動をサポートしていきたいと思っております。

### トラストサロンのご案内！

#### 家庭菜園をお楽しみの皆様へ！「有機(生態系)農業の基礎」公開講座(全2回)開催

- ・ 第1回：第1回「基礎編」 平成24年1月28日(土) 18時30分～20時30分
- ・ 第2回：第2回「雑草、病害虫対策編」 平成24年2月11日(土) 18時30分～20時30分
- ・ 講 師：農学博士 遠藤織太郎氏 (NPO法人手賀沼トラスト理事長、元筑波大学教授)
- ・ 場 所：けやきプラザ7階研修室 定 員：50名(申込み先着順)
- ・ 受講料：会 員(300円/1回)、一 般(500円/1回)……………(資料代、会場費等に充当します)
- ・ 主 催：NPO法人手賀沼トラスト 後 援：我孫子市
- ・ 申込み：事務局(國方宛)、TEL&FAX:04-7184-3385、e-mail:info@teganuma-trust.jp

## イベント報告 そば祭り

11月26日(土)

NPO法人としては初めて、通算では13回目のそば祭りとなります。そばは、13年前に手賀沼トラストの活動を始めた時に、最初に栽培した作物です。その理由は、収穫したものをみんなで食べることを行うためでした。

当日は、80名ほどの参加者が集まり、賑やかにそば打ちが始まりました。この日に活躍するのは蕎麦勉強会のメンバーで、常日頃からこの日のために(?)日々研鑽を惜しまずそば打ちや男の手料理などを実践してきました。この日は5台のそば打ち台を使い、それぞれにこのメンバーが先生となり、指導してくれました。

参加者はその台に分散し、そば粉を混ぜ、捏ね、伸ばし、切って、茹でて、食べるころまでを堪能しました。小さな子どもから、大きな大人(?)までみんなが和気藹々とそば打ちに熱中している姿はトラストならではの姿です。

そば打ちと共に、根戸城址での焼き芋も楽しみました。いつもならば枯れ枝等で行うところですが、今年は放射能の関係でたき火は自粛です。そのため、竹炭をふんだんに使って、とてもおいしい焼き芋が完成しました。このサツマイモは手賀沼ファームの皆さんからの差入れでした。その他にも日暮さんからお赤飯の差入れなど、いつものようにそばよりもボリュームのある数々のおかずが所狭しと並びます。アルコール飲料、ノンアルコール飲料も次々に空になっていきます。参加者一同、本当に充実した一日となりました。この日は、久しぶりに故日暮代表のレリーフも飾られて、私たちの活動を見守って下さいました。

(坂巻 宗男 記)

## イベント報告 餅つき大会

12月17日(土)

みんなで大切に育てた貴重な無農薬、有機栽培のもち米を使います。前日から準備をしていただいた方に感謝しつつ、私は遅れての参加になりました。開催場所は根戸城址です。冬の澄み切った青空にかまどの煙が昇っていく景色はなつかしい里山の風景で心が和みます。参加者は会員や家族、初参加の方など合わせて約100名、受付販売担当、蒸籠で米を蒸す人、餅つき、成型、お雑煮係、などに分かれます。そして大人から子供まで幅広い年齢層の人々が和気藹々と作業します。私は毎年、成型を担当させてもらっていますが、今年は餅つきにも挑戦しました。白い餅に思いっきり杵を振り下ろし、ピシャッという音がして何故かすっきりしました。

2臼同時進行で20臼以上搗きます。作業は朝9時からですが、途中で乾杯して、つきたてのお餅を、餡、ゴマ、きな粉、大根おろしに絡めて食べます。その後トラストのお母さん達がいまだき珍しいかまどでお雑煮を作ってくれました。私はこのお雑煮が楽しみで参加しているといってもいいほどです。出し汁が効いていて小松菜がたっぷり入ったお雑煮はとても美味しく人気です。お腹一杯になり、最後のお餅がつきあがるとみんなで手拍子で終了となりました。お腹も心も満足の日でした。

(須原 直子 記)

## 会員コーナー

### 日本ミツバチの話(その4)

富澤 崇

年末に見たテレビドラマに刺激されて、ミツバチを飼いたいと妄想し始めた私。女房は「例の悪い癖が.....。またひどい目にあわされるのでは」と警戒している。そんな女房の目を盗んでパソコンに向かう。まことにインターネットはドラえもののポケットにも匹敵する夢の道具である。あっという間に「日本蜜蜂の飼育」というサイトにたどり着いた。すると、なんとということか、たくさんの人が趣味でミツバチを飼っているではないか。

それによると、プロの養蜂業者が飼っているのは西洋ミツバチ。素人が趣味で飼うのは日本ミツバチ。こいつは野生種で、そこらへんにいくらでも飛んでいる。そいつを群れごと捕まえて飼う。餌代はいらない。自分たちで集めてくるからだ。何とそうえ、集めた蜂蜜を頂戴できるというではないか。うちの猫なんか餌代がかかるだけだ。猫なんか煮ても焼いても食えない。飼うなら蜂だ、蜂蜜だ、と私の中の縄文と弥生が合体して叫ぶ。古代ヘブライ人が、「蜜したたる約束の土地」を目指したのもむべなるかな。「これだ！これこそ男のロマンだ！」

さっそく「日本蜜蜂の飼育」に投稿した。09年2月20

日のことである。『千葉県我孫子市の手賀沼のほとりに住んでいます。日本ミツバチを飼ってみたいのですが、こんなところでも巣箱を設置すればミツバチが入るでしょうか。(我孫子トミー)』我孫子在住の富沢だから「我孫子トミー」という安直なハンドルネームを使った。でもね、このいい加減な「我孫子トミー」という名前が、のちに大量のミツバチをもたらしてくれる幸運の名前になるのですよ。すぐに何通もの返事が返ってきた。そのうちの1通は印西市のゆめ蜂さんという方からで、数度のやりとりのあげく、お宅を訪問することになった。疑心暗鬼の女房とからかい半分の娘と婿と総勢4人でお邪魔した。ゆめ蜂さんのお宅は豪壮な農家づくりで、いくつもの蜂箱が置いてある。巣箱見学のと、座敷で蜂蜜をご馳走になった。スプーンにあふれる琥珀色の液体。市販の蜂蜜よりさらっとしている。ところが、口に入れるや芳醇な甘み。ただ甘いのではない、奥深い重層的な甘みである。さわやかな酸味も感じる。これは凄い。そつと女房の様子をうかがう。あまりの美味さにうっとりしている。しめた、蜂が飼える！というわけで、以下次号。

## 12 月度 活動報告

活動日	区分	担当部門	参加者	活動内容
11/28(月)	広報	事務局	2名	会報第5号編集・校正(～11月30日)
11/29(火)	農保	農保G	7名	籾穀調達
12/1(木)	外部	事務局	2名	「NPOの日」リーフレット配布
12/7(水)	定例	事務局	15名	道具置場の清掃、整理整頓
	会議	事務局	4名	業務連絡会
12/9(金)	市内	事務局	1名	市役所(農政課、市民活動支援課、消防本部他)
12/10(土)	農教室	農事G	50名	ヤツガシラ、秋野菜収穫、修了式、芋煮会
12/16(金)	合同	交流G	19名	餅つき大会準備
12/17(土)	合同	交流G	92名	餅つき大会
12/20(火)	農保	農保G	5名	箕輪圃場除草作業
12/21(水)	会議	事務局	10名	第6回定例理事会

## 1月～2月度 活動計画

活動日	区分	担当部門	活動内容	留意事項
12/24(土)	広報	事務局	会報第6号編集・校正(～26日)	
12/27(火)	外部	事務局	関係先年未挨拶	(遠藤、國方)
	広報	事務局	会報第6号印刷・発送、配信準備	
1/12(木)	会議	事務局	ACNW 賀詞交換会、市長懇談会	(遠藤、國方)
1/14(土)	会議	農事G	H24 年度事業計画検討	運営スタッフ他 (13 時けやきプラザ1階)
	会議	事務局	広報打合せ	15 時～けやきプラザ 10 階
1/15(日)	定例	環境G	樹林地管理(下草刈、竹伐採等)	
	会議	事務局	販売 PJT 打合せ	15 時～けやきプラザ 10 階
1/16(月)	会議	農保G	箕輪圃場利用計画・24 年度計画検討	
1/22(日)	会議	環境G	H24 年度計画打合せ	
	会議	事務局	第7回定例理事会	18 時～けやきプラザ 10 階
1/28(土)	サロン	交流G	公開講座(けやきプラザ7階研修室)	<b>有機(生態系)農業の基礎[ ]</b>
2/1(水)	会議	事務局	業務連絡会	H24 年度事業計画・活動予算
	定例	環境G	ハス田管理(波板打込み等)	
2/11(土)	サロン	交流G	公開講座(けやきプラザ7階研修室)	<b>有機(生態系)農業の基礎[ ]</b>
2/19(日)	研修	事務局	普通救命講習	<b>我孫子西消防署会議室 9 時～12 時</b>
2/26(日)	会議	事務局	第8回定例理事会	18 時～けやきプラザ 10F
2/29(水)		事務局	H24 年度事業計画・活動予算提出期限	<b>事務局必着のこと</b>

活動日程に変更がある場合は HP の「お知らせ」テロップでご案内します。

お問合せ先：TEL:04-7184-3385(國方)、04-7131-3450(吉田)宛にお願いします。

### ありがとうございました！

- ・桐石二男さんから玄米 30kg を頂きました。
- ・永野ヒサエさんから餅つき器(一式)を頂きました。
- ・日暮満子さんから赤飯の差入れを頂きました。
- ・柴本三弘さんからリンゴの差入れを頂きました。
- ・遠藤織太郎さん、杉野光明さん、森博子さんから寄付金を頂きました。

### 義援金をありがとうございました！

そば祭り、餅つき大会で農教室で収穫したサトイモをお買い上げ頂いた売上金(合計 14,610 円)を我孫子市の東日本大震災「災害復旧事業」に寄付いたしました。事務局

### 「普通救命講習」の実施について

1. 日時:2月19日(日)9時00分～12時00分
2. 会場:我孫子西消防署3階会議室
3. 対象:運営スタッフ(一般会員の方もご参加頂けます)
4. 参加者に修了証が交付されます。
5. 車で来られる方は**市役所の駐車場**をご利用ください。

### 編集後記

12月には寒のような寒い日が続きました。冬至には柚子湯に浸かり、大晦日には年越しそばを打ち、除夜の鐘を聞きながら新しい年を迎え、そして元朝参り、毎年同じように繰り返すことですが、清新な気持ちで正月を過ごせる幸せに感謝しています。(國方記)